

(全学共通)

社会貢献	目的：個々の教員による社会貢献能力の開発		
	到達目標（個人）	FDプログラムの例	評価指標の例
フェーズⅠ： 導入（知る）	<ul style="list-style-type: none">① 大学が果たすべき社会貢献について理解する。② 本学の社会貢献に関する目標・計画を理解する。③ 地域におけるニーズについて積極的に考える。④ 学内で行なわれている社会貢献活動に積極的に参加する。	【学科及び全学主体】 1. オリエンテーション 2. ガイダンス 【学科主体】 1. 学科内の情報を把握し、興味関心分野へアプローチ	1. 参加状況
フェーズⅡ： 基本（実践）	<ul style="list-style-type: none">① 地域の社会的ニーズに対応して活動する。 例：住民への生涯学習機会提供、自治体審議会委員等② 社会貢献チームを形成・参加し役割を果たす。③ 地域・大学における自らの社会貢献の位置づけを理解し、活動に反映させる。	【学科及び全学主体】 1. セミナー 2. 学科内でのFD,懇談 3. 学内外の社会貢献チーム	1. 参加状況
フェーズⅢ： 応用・発展 （開発・改善と 成果の報告・発表）	<ul style="list-style-type: none">① 学内外のリソースを有効に活用し、大学の教育・研究の発展につながる社会貢献活動を企画・立案し、実施する。② 専門領域における学術団体・職能団体の活動を通じて、人材育成と研究の推進に寄与する。③ 研究及び実践の成果を知的財産として社会に還元する。	【学科及び全学主体】 1. セミナー（両センターを含む） 2. FD、懇談会 3. 関連する学会 4. 地域貢献チーム	1. 参加状況 2. 企画書・報告書
フェーズⅣ： 支援 （教授と支援）	<ul style="list-style-type: none">① 大学の社会貢献の戦略を立て、若手人材の育成、経営的視点を含めた展開を図る。② 大学が学術・文化の中心となるようリーダーシップを発揮する。③ 国際的な視点から社会貢献を展開する構想をもち、実施への方略を立てる。	【全学主体】 1. FD（上級向け） 2. 国際会議	1. 企画状況 2. 報告書